



山崎 栄 議員 (自民誠和会)

### 新たな公共施設等総合管理計画の取り組みについて問う



**町長** 廃止、統合、更新、建て替えを視野に検討

**質問** 公共施設やインフラ施設等の多くが老朽化のため大規模改修や建て替えが必要となる。施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するため、平成29年3月に瑞穂町公共施設等総合管理計画が策定さ



町営住宅の外壁改修工事

れ、令和3年には総務省の通知を受け、見直しされた。そこで計画に関し、次の点について伺う。  
**問①** これまでの進捗状況と現状は。  
**町長** 図書館、学校施設、町営住宅など老朽化の度合いに応じ、財政計画を考慮して改修してきた。  
**問②** 見直し後の課題はあるか。  
**町長** 一部の施設以外は、長寿命化などの改修計画がないことから財政計画も大枠になっ

ていく。  
**町長** 民間や専門機関への委託も併用し、現時点では、従来通りの施設管理体制をとっていく。  
**町長** 令和3年、ふるさと納税の寄付受入れは、263件、1267万円となった。返礼



高校生が作ったみずほブランドの唐辛子

品には、お茶、シクラメン、農産物、菓子、工業製品、瑞穂農芸高等学校の加工食品などが提供された。拡大のために、町内事業者の商品の自主開発が不可欠であり、今後も協力を図っていく。  
**町長** 令和3年、ふるさと納税の寄付受入れは、263件、1267万円となった。返礼

**町長** シティプロモーションによる町の活性化を図る



村上市 嘉男 議員 (自民誠和会)

### ふるさと納税の現状と取り組みについて

町の活性化を図る

**質問** 全国でふるさと納税の受入額、受入件数が拡大を続ける中、町は令和3年度に返礼品事業を開始した。導

### たばこのポイ捨ての現状と今後の対応について



香取 幸子 議員 (自民誠和会)

**町長** 喫煙者のモラルとマナーの向上を促す



**質問** 箱根ヶ崎駅周辺の路上や町内の公園などで、たばこの吸い殻が散乱している箇所が目につく。駅周辺住民からは、自身の駐車場やコンビニエンスストア周辺に吸い殻が捨てられていて困っているとの声も聞いている。歩きたばこやポイ捨ては、街の景観を損なうだけでなく、たばこの火種により起こりうる取り返しのつかない重大な事故につながるリスクもはらんでいる。現状に対しての認識と今後の対応について、町長の所見を伺う。  
**町長** 町は注意喚起の立て看板を設置し、環境監視員などによって定期的な監視活動や清



注意喚起の掲示を設置する環境監視員

掃を行っている。しかし、ポイ捨て行為は止めるのが非常に難しい。見込めないようであれば、最終手段として、福生警察署、関係機関から意見を聞き、ポイ捨て防止フェンスや注意看板の設置、啓発活動を継続し、喫煙者のモラルとマナーの向上を促していく。改善が見込めないようであれば、最終手段として、条例化をにらみ、監視に必要な財源確保、罰金徴収体制など、必要事項を研究する。

下澤 章夫 議員 (自民誠和会)

### 公共下水道事業の今後の取り組みについて問う



**町長** 料金体系の見直しを含め、持続可能な経営を目指す



平成28年の台風で冠水した箱根ヶ崎地区

**質問** 瑞穂町の下水道事業は、令和2年度から公営企業会計に移行して健全財政を目指している。しかし、一般会計の繰出金が令和4年度予算では2億円以上が計上されている。また下水道事業会計では令和4年度から3か年をかけ、長岡1号幹線整備事業が予定され、その費用は約46億円を要す。さらに、駒形汚水ポンプ場の老朽化や不明水の浸入対策など課題がある。これにどう対処し、下水道事業運営に取り組むのか、町長の所見を伺う。  
**町長** 長岡1号幹線の整備は道路冠水、床上浸水が発生した事例もあり整備を急がなければならない。また、元狭山地区の豪雨被害に対応するため、不明水の浸入を防ぐ必要がある。そのため、下水道の調査、修繕、ポンプ場モーターの交換などの予算を優先配分している。今後も、新青梅街道拡幅に伴う雨水排水、埋設管の経年劣化の修繕など、町の下水道に係る投資、財政計画を基に、料金体系の見直しを含め、持続可能な下水道経営を目指していく。